

ひらいずみ 議会だより



●主な内容

定例会3月会議

まちの未来をつなぐ予算…………… 2

一般質問

ここが聞きたい

議員9人が町の考えを問う…………… 10

特集 議会モニターの視点…………… 22

感謝の心を胸に



3年ぶりとなった全国の舞台。平泉の子どもたちが躍動しました。

(関連記事 P24)

まちの未来をつなぐ予算

町政発展と暮らしの支えに

震災復興から15年

世界遺産登録15周年記念事業

1,082万円

世界遺産登録15周年にあわせて、平安時代の衣食住を展示する。また、東下り行列で使用された歴代の義経の衣装の展示も予定している。



浄土文化の洞察へ

文化観光の推進

文化遺産センター展示室充実事業

1,450万円

光と水の浄土の世界観を体感できる展示に向けた整備をする。既存の展示解説は最新の調査研究を踏まえた内容へ見直しを行う。



展示物の充実へ

町民の足の確保は

問 コミュニティバスの運行委託料が年々増加している理由と利用状況は。

答 人件費等の上昇である。利用状況は、登録者数は毎年増えている。一度乗ってみると以外に使いやすいとか、今後も意見等を伺いながらさらに利用しやすいように運行していく。



利便性の重視を

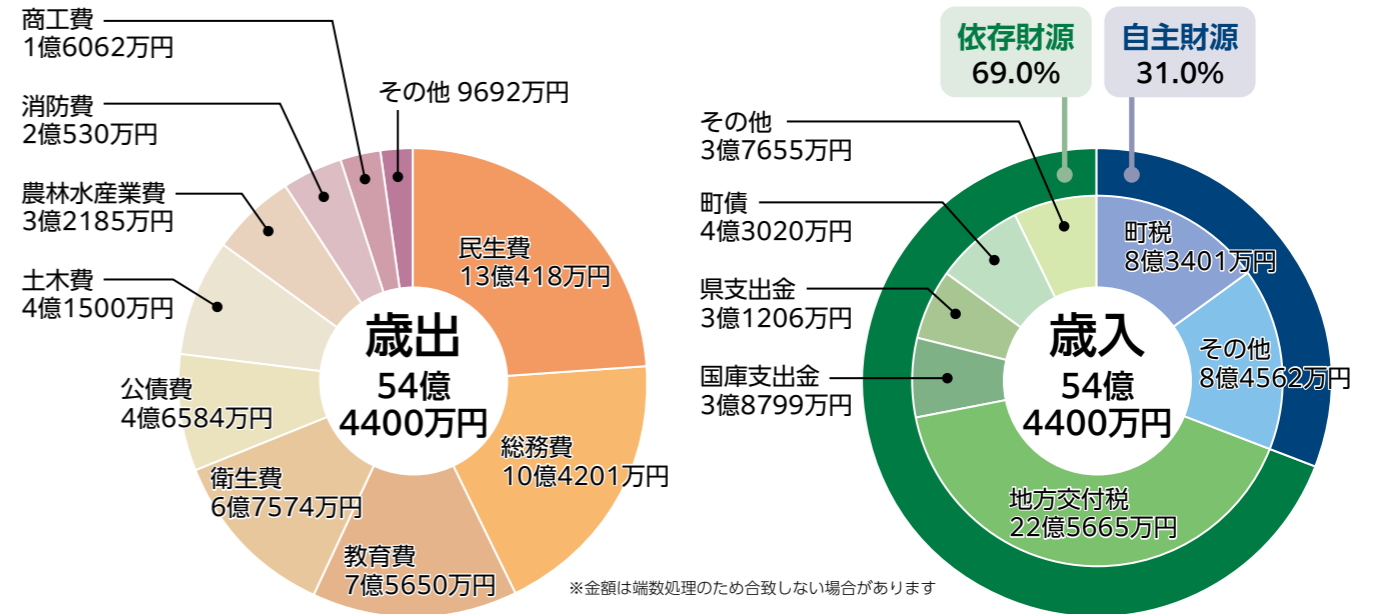
高齢者の足の確保を

財政が厳しい中ですが、高齢者福祉の充実には欠かせないと思います。特に、通院や買い物等の交通手段であるコミュニティバスは、利便性を重視して運行して頂きたいと思います。

やまだ けいじ
山田 慶治さん
(長島字二反田)



町民の声



※その他の経費…議会費、諸支出金、予備費などの経費

自主財源
※その他…繰入金（一般会計、特別会計、基金等の会計間を移動するお金）、分担金、負担金、使用料、寄付金など

依存財源
※その他…地方消費税交付金、利子割交付金、交通安全対策交付金など



予算の詳細な内容は、「広報ひらいずみ4月号」をご覧ください。

審査意見

- 健康福祉交流館経営の構造改革を推進されたい。
- 少子化と人口減少対策事業の拡充に努められたい。
- 子ども・子育て支援事業の拡充に努められたい。
- 町の補助金事業の検証と事務事業評価を行うこと。

※審査意見とは…議会が承認し成立したのものについて、今後の改善点、事業の進め方等について議会からの公式の意見・要望を付したものである。

予算委員長の



自主財源の確保はどの自治体でも厳しさを増している。その中で当町は定住促進と企業誘致を計画的に進め、将来的な税収基盤の強化を図る必要がある。また、事業の必要性を精査し、限られた財源を重点的に配分することで結果として町民の福祉向上につなげていくべきではないだろうか。



氷室 予算委員長

※予算委員会とは…予算の中身や金額の妥当性などを詳細に議論し、チェックする委員会である。次年度の事業方針を決定するという意味で非常に重要な審議の場である。

地域の活性化に向けて

今年是世界遺産登録15周年という節目の年である。しかし当然ながら、町の抱える諸課題の解決へ歩みを止めてはならない。

観光振興

世界遺産登録15周年記念事業

問 世界遺産連携推進実行委員会負担金500万円の概要は。

答 令和8年は、世界遺産登録15周年、中尊寺落慶900年の節目の年であり、世界遺産祭in平泉を掲げ8月29日と30日平泉スマートインターチェンジの駐車場で盛大に開催する。



落慶900年となる中尊寺入口

地域おこし協力隊の活動

問 地域おこし協力隊業務委託料4,950万円は9名分の予算を示しているのか。また地域おこし協力隊中間支援業務委託料200万円の詳細は。

答 一人当たりの報酬・活動費をあわせて550万円で、それが9人分である。中間支援業務委託料200万円は、地域おこし協力隊の活動日誌の取りまとめ、年度末の活動報告会、初任者研修の実施等が業務委託されたものである。

少子化対策

問 出産祝金40万円の詳細は。今年度は減額したのか。

答 20人分を想定している。前年度までは出産祝金が5万円（現金2万円と商品券3万円分）だったが、国の支援として10万円が妊婦に給付される制度が既に始まっていることから、出産祝金として現金2万円の給付とした。

空き店舗対策

問 空き店舗対策事業補助金が前年度より300万円増額され、363万6,000円となっているがその内容は。

答 昨年度までは空き店舗対策で家賃補助をしていた制度であったが、今回から300万円を上限にリフォーム費用にも適用可能としたためである。



教育

部活動の地域移行支援

問 部活動地域移行支援補助金51万5,000円の用途は。

答 町のスポーツ協会に委託して見守り活動を実施している補助金である。

小学校の給食費

問 今年4月から、小学校の給食費が国費での交付金となり、一人月額5,200円補助されるが、これで賄えるのか。

答 今現在、一人年額4万8,800円である。物価高騰もあるが、来年度の交付金を活用して、保護者に負担をかけることなく取り組む。

産業

農業振興策への支援

問 新規就農者対策事業の事業内容は。

答 新規就農者に月額12万5,000円を経営開始準備期間として給付する事業である。認定から2年間の支給で、現在1人が対象となっている。

集落支援業務

問 新規事業の集落支援業務委託料の事業内容は。

答 集落の維持や活性化を目的に、地域住民とともに集落の課題解決に向けて取り組む制度である。

防災

地域防災の要

小型動力ポンプ付積載車購入

4分団の小型動力ポンプ付積載車を新調する。

問 令和6年に3,190万円を計上して7分団の車両を購入した経緯がある。今回の車両価格約1,380万円とは大きな開きがある、その理由は。

答 7分団のものはポンプ自動車で、今年度計上しているものは小型動力ポンプ付積載車であり、形式が異なるためである。



小型動力ポンプ付積載車

少子・定住化

予算案を審査！

悠久の湯の経営改革を



問 人件費が経営改善を進めるうえで、足かせになっていないか。これを改善しない限り、個別項目別の対策を立てたところで焼け石に水である。

答 一人当たりの手当てを減らすという方向ではなく、今検討しているのは削減できる経費の範囲で政策を織り込みながら検討していくということである。

人件費の見直しは

問 現段階で町民温泉をなくすという考えは一切持っていない。現在は食堂の在り方や、職員の人数を検討している。今後町民温泉の課題内容を掘り下げながら、対応をしていきたい。

問 令和8年度は一般会計から健康福祉交流館への繰入金金が3520万円となっている。昨年度から取り組んでいる経営改善計画では、一般会計からの繰入金を毎年減額していくとしていたが、初年度からその計画は破綻しているのではないかと町民温泉を残すのであれば、庁舎内一丸となって、課題に取り組んでいくべきではないか。

施設は継続させていく

—町長の熱い想い—

議会はこう捉えている

町民温泉は開館から30年が経ち、施設の老朽化が進んできている。今後さらに設備補修に費用がかかってくるのではないかと。物価高も含め、今後あらゆる費用の増大が見込まれるこの難局をどのように乗り越えていくのか。

悠久の湯のアピールを

課題が山積みの中で悠久の湯の存続となると、町民以外の観光客にも足を運んでもらう必要があるのではないかと。悠久の湯アピールをもっとすべきだと思う。

いわぶち やすひろ
岩淵 泰博さん
(平泉字要害)

町民の声



町民が実感できる情報発信を

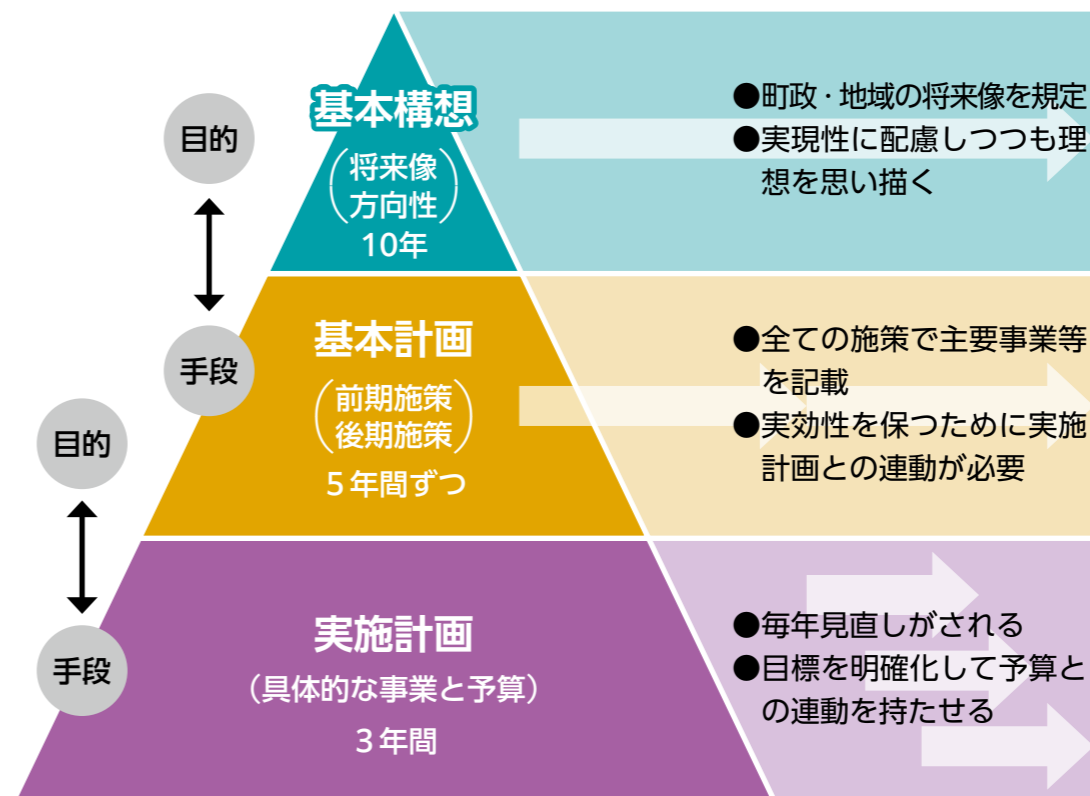
総合計画後期基本計画は、今後5年間まちづくりの方向性を示す重要な計画のようですが、町民が実感できる施策の充実とともに、分かりやすい情報発信を求めます。

ちば さちこ
千葉 幸子さん
(平泉字鈴沢)

町民の声



町の未来の設計図 (平泉町総合計画)



総合計画とは、まちの将来像と方向性を示したものである。基本構想を期間で区切り、具体的な施策で示したものが前期・後期基本計画であり、この基本計画に基づいて、実施計画が示され、いつ、どの程度の予算で行うかを明らかにする。令和8年度は平泉町の第6次総合計画の後期基本計画が策定され、これまでの課題・取り組みを踏まえたものとなった。

後期計画より一部抜粋した指標	現状	→	目標
ふるさと応援寄付金の寄付額	1.0億円	→	2.4億円
公園の整備数	0箇所	→	1箇所
防犯灯の設置個所数	652箇所	→	675箇所
町道舗装率	63.1%	→	65.0%
SIC周辺開発計画エリアにおける整備率	0%	→	50%

後期基本計画が策定されました

町民生活のコンパス

人権擁護委員への同意

いわぶちせいち
岩渕省一氏を新たに人権擁護委員として選任することに議会は同意した。

人権擁護委員とは各市町村長が推薦した者を法務大臣が委嘱するものであり、地域において人権相談の受付や人権侵害の防止にあたり救済を行う者である。

2月会議・3月会議採決状況 (賛否が分かれた議案は3件)

(賛成：○、反対×)

会議名	議案	議員名													賛成	反対	採決結果
		小 埜 寺 享	千 葉 多 嘉 男	大 友 仁 子	氷 室 裕 史	阿 部 圭 二	三 枚 山 光 裕	真 籠 光 幸	高 橋 伸 二	佐 藤 孝 悟	千 葉 勝 男	升 沢 博 子	高 橋 拓 生				
2月会議	一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	11	0	可決
3月会議	職員定数条例などの一部改正など5件 総合計画後期基本計画の策定など4件 一般会計、特別会計、下水道事業会計、水道事業会計補正予算7件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	11	0	可決
	平泉町町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	-	9	2	可決
	議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	11	0	可決
	人権擁護委員の諮問	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	11	0	可決
令和8年度予算	一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	11	0	可決
	国民健康保険特別会計	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	-	9	2	可決
	後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	-	9	2	可決
	健康福祉交流館特別会計など2件 下水道事業会計 水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	11	0	可決

※採決に議長は参加していません。

旧公民館跡地の利活用は

問 アスベストを含む解体工事の安全性は図られたのか。

答 産業廃棄物の中でも特別な処理が必要であり、いわてクリーンセンターで適切に処理されている。

問 解体工事費が当初の見積もりより大きく増額になった理由は。

答 アスベストを含む建材の処分を当初1.6トンとみていたが、2.8トン増の4.4トンとなった。その結果全体の処分量が増え、整地費と産業廃棄物処分に係る費用が増額となり今回の補正要求となった。

問 旧公民館跡地は今後、どのように活用していくのか。

答 世界文化遺産の重要な資産の緩衝地帯、バッファゾーンに位置付けられている。地域の活性化と世界遺産の保全の両立が可能な形で検討を進めていく。
 今後は、住宅政策や歴史的な公園に資する活用も検討していく。



旧公民館跡地、その活用は

定例会2月会議 旧公民館解体工事費が増額

長年、町民の生活を支えてきた公民館は、令和4年3月に閉館し、解体された。旧公民館の機能は学習交流施設エピカに移転した。
 今後は有効な跡地利用が望まれる。

陳情

継続審査のその後は…

「ゆたかな学びの実現・教職員定数の改善・教育予算の拡充について」



2月の総務教民常任委員会において、参考人(岩手県教職員組合県南支部 書記長:佐藤 智也氏)を招致し、上記陳情について議論を交わした。教職員が働く現場において、依然として長時間労働の是正が実感できない実態や現状を鑑みた際の教職員定数改善の必要性について細かく説明を受けた。その結果、3月会議において採択され、意見書を提出することとなった。



たかはし しんじ 議員



全文はこちらから

規則に沿った事務処理を

答 適正な文書管理に努めていく

総務課長 補助金交付規則の中で補助金の交付対象、

問 規則や要綱のどの条項に「当該申請物件が完成前になければならない」と明記されているのか。

総務課長 補助金交付規則の定めにより、速やかに審査し結果を通知すべきであった。手続き上の不備を認め率直にお詫びを申し上げたい。

問 町民から提出された「補助金交付申請」が文書取扱規程等に基づいて公平・公正に処理されていない事例がある。

事業の内容、補助率等を別に定める要綱に委任されている。

問 町民が申請した補助金交付要綱の中には「完成前の規定」がない。制度の逸脱・濫用ではないか。

総務課長 「交付決定前は認めない」ことは行政にしている。一般の町民の方には理解されていないケースもある。

今回、町民の補助金交付申請が町の手続き・過失が原因で無かったことにされた。町の慣行は住民を拘束しない。町民が受けた不利益は回復させるのが当然だ。

議員のひとりごと



おおとも さとこ 議員



全文はこちらから

投票しやすい環境整備は

答 支援策を検討する

問 一人暮らしの高齢者や障がい者の方が投票しやすいように、タクシー券を配布する考えはないか。

町長 次回の選挙票所および当日の各投票所において「選挙支援カード」を導入する予定である。

問 障がい者等の方が、スムーズに投票ができるように更なる取り組みが必要と考える。投票に際し必要な支援を口頭による申し出が困難な方、苦手な方が事前に記入出来る「選挙支援カード」を導入する考えはないか。

町長 誰もが安心して選挙権を行使できる環境づくりに向け、実施可能な支援策を検討する。



投票所の町役場

自力での外出が難しい高齢者や障がい者等の投票機会を確保するため、是非とも無料タクシー券の配布を望む。

議員のひとりごと

ここが聞きたい!

議員自身の考え、町民の生の声、町の施策などを執行者に質します。今回は9人の議員が登壇しました。

P11 高橋伸二 議員

①地方自治体の公文書と職務遂行義務

P11 大友仁子 議員

①安心で安全な子育て環境の整備
②投票しやすい環境整備

P12 千葉勝男 議員

①青木町長の政治姿勢
②人口減少対策
③町有財産
④地域おこし協力隊

P12 千葉多嘉男 議員

①自治体DXの推進
②柳之御所遺跡の追加登録及び復元整備計画

P13 小笠寺享 議員

①障がい者福祉

P13 阿部圭二 議員

①住宅リフォーム及びリノベーションへの支援
②高齢者への支援

P14 真筆光幸 議員

①保育・子育て支援の充実
②移住・定住の推進
③新しい時代に対応したこどもの教育

P14 佐藤孝悟 議員

①GIGAスクール構想とその後
②土取り場の工業団地化

P15 三枚山光裕 議員

①町長施政方針演説と新年度予算案
②教育行政方針演説

※各議員の質問ページの氏名隣りのQRコードから、個人の質問の内容がご覧になれます。



一般質問と総合計画

平泉町は総合計画に基づき、町長が施策を推進しています。6つの基本目標に大別された分野別の課題や進捗状況、政策について議員が町長等に質するのが一般質問です。各議員が総合計画におけるどの分野について質問しているのかを可視化しました。

総合計画6つの基本目標

1. 協働のまち

1-1 こどもの教育	真筆
1-4 移住・定住	千葉(勝)・真筆

2. 福祉の充実

2-1 子育て環境の整備	大友・真筆
2-3 高齢者福祉の充実	阿部
2-4 障がい者福祉	小笠寺

3. 観光と産業

3-4 商工業の振興	千葉(勝)・佐藤
------------	----------

5. 環境と調和

5-4 住宅の整備	阿部
5-6 情報環境の充実	千葉(多)・佐藤

6. 歴史と文化

6-1 文化遺産の活用	千葉(多)
-------------	-------

その他

行財政運営	高橋(伸)・千葉(勝)・三枚山
選挙関連	大友

町ホームページで見られます▶
【第6次平泉町総合計画】





おの 小笠寺 享 議員



全文はこちらから

バリアフリートイレの設置は

答 整備に向けて検討していく

問 整備体制が整った場合、体育館との一体的な利用

教育長 現在、長島小学校が未整備の状況となっている。障がい有無に関わらず、児童が安心して学べる教育環境の充実と指定避難所としての地域防災機能強化の面から、整備について具体的に検討していく。

問 文部科学省は学校施設のバリアフリー化を推進している。当町の小中学校3校では、バリアフリートイレを設置しているのは2校である。残りの1校についての対応は。

問 居住の自由は理解しているが、町職員の多くが町外に住んでいる。職員採用の段階で町内の居住を促すことはできないか。

青木町政3期の成果は

答 対話を広げ、施策を進めてきた

問 企業誘致に関して、なかなか形が見えてこない。どのような現状になっているのか。

まちづくり推進課長 誘致の可否を断定的に言うことはできないが、現在進めている開発事業者とは好印象を持った交渉を進められていると考えている。町もライフラン等についてサポートできる部分はしていく。

問 居住の自由は理解しているが、町職員の多くが町外に住んでいる。職員採用の段階で町内の居住を促すことはできないか。

問 居住の自由は理解しているが、町職員の多くが町外に住んでいる。職員採用の段階で町内の居住を促すことはできないか。

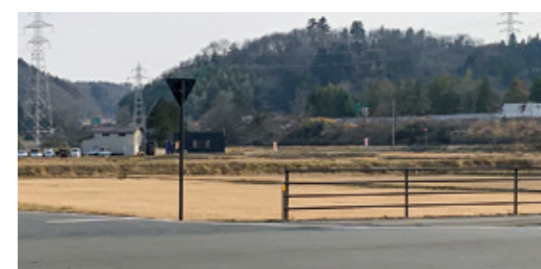


ちば かつお 議員



全文はこちらから

総務課長 受験資格の義務化は難しいが、平泉町が移住施策に積極的に取り組んでいることをPRすること等は可能と考えている。



企業誘致は急務

町長はこれまで、党派を超えて国等に要望を行ってきたと言った。今後も党派を超えた活躍を期待したい。

議員のひとりごと

高齢者世帯の雪かき支援は

答 民生委員と実態把握をする

問 今後も、町内でも大雪が想定される。特に高齢者は、自宅から出られないことが想定される。行政区に除雪道具の配布等を検討すべきではないか。

町長 町内の運転免許証の保有者の4割が高齢者で、自主返納者数は254人で、令和7年の返納者数は35人である。令和6年度より自主返納者に、公共交通の利用支援として1万円の助成をしている。

問 高齢者の運転免許証の自主返納者に継続的な支援を図るべきではないか。

町長 町内の運転免許証の保有者の4割が高齢者で、自主返納者数は254人で、令和7年の返納者数は35人である。

町長 高齢者世帯の除雪は身体的な負担が大きい。ため、民生委員や地域包括センター等と連携し実態把握していく。



必要な行政区には雪かき機を

免許返納者に支援として毎年1万円の支援や電動自転車の貸し出しを検討するべきではないか。

議員のひとりごと

柳之御所遺跡の拡張登録と整備は

答 評価申請書の早期提出を進める

問 平泉全体の歴史的価値を包括的に伝えるため、早期の拡張登録を進めるべきではないか。

教育長 浄土を表したとする論理による価値証明を検討し、事前評価申請書を、文化庁、有識者の意見を頂き早期の提出に向けた取り組みを進める。

問 拡張登録に向けたスケジュールは。

世界遺産推進室長 登録までの期間としては、順調に進んでも事前評価申請書の提出から4年かかる。

問 史跡公園化されていない公有化された土地についても、史跡公園として整備を進めるべきではないか。

世界遺産推進室長 発掘調査の継続的な調査と検討が必要。ことから、整備には時間がかかる。考える。



発掘調査が進められる堀外部地区

平泉バイパス建設事業を発端として、止む無く家屋移転や農地を提供された住民の方々の心情を察すると、早期の復元整備を進めて欲しい。

議員のひとりごと



三枚山光裕 議員



全文はこちらから

新たな独自財源確保策は

答 世界遺産と農業遺産の活用を

問 給与所得者の納税が一番大きい。個人の町民税に占める割合は金額で86・9%である。財源確保を模索する際、様々な方法を検討する必要があるが、最も大事なのは労働者の賃金、給与を上げる施策ではないか。

町長 世界遺産と日本農業遺産を中心とした地域資源を最大限に活用した財源確保策を進める。

問 新たな独自財源の確保の仕組みについて検討している。具体的な考えは。



独自財源の確保を

観光工商課 賃上げに關してはどのような支援がいいのか、今まさに検討しているところだ。

平泉町民一人当たりの納税額が2.7万円。愛知県幸田町は6.7万円余。所得が多いからだ。そこをどうするかなんだけど。分かったのかな？

議員のひとりごと

オンライン大学への進学支援は

答 育英資金制度で支援できる



真筆 光幸 議員



全文はこちらから

問 町の将来を担う人材育成の為に、日本財団が設立したオンラインによる通信制大学「ZEN大学」への進学支援を行えないか。

教育長 オンラインによる大学は文部科学省で認可された大学であり、育英資金の対象にはなる。

問 経済的な事情で進学を諦めることのないよう大学進学の道を示してやることも子育て支援の方策の一つではないか。

教育長 当町では、育英資金の貸し付けで就学機会の確

子どもの遊び場となる公園の整備を進めるとの計画だが具体像が示されない。親子の居場所づくりを早急に求む。

議員のひとりごと



大盛況の江刺カルチャーパーク

教育長 町として新たな制度の創設は考えていない。

問 給付型奨学金の創設も検討し、町の子どもたちが町に帰ってくるよう取り組みべきではないか。

保を図っている。他の政策等と整合性を図る必要があるため、教育行政で直ちに必要性を判断できるものではない。

令和7年度の一般質問総括

議員は何に注目してきたのか

令和7年度は延べ33人の議員が70項目について一般質問を行なった。特に福祉関係と農業振興、子どもの教育に関する質問は、毎回取り上げられ、議員間でも町の重要課題として注視されてきたことがわかる。

福祉の充実	16人	商工業の充実	6人
農業の振興	9人	地域防災	4人
子どもの教育	8人		

上記が特に取り上げられることが多かった項目である。他にも地域公共交通や文化遺産、地域おこし協力隊に関する質問など多岐に渡っていた。今後も議員それぞれの考えはもちろん、町民の皆様の意見・考えを十分に反映し、一般質問を行っていく。

タブレット依存への対策は

答 子どもの利用時間等を定める



佐藤 孝悟 議員



全文はこちらから

問 スマホ・タブレット等のデジタルデバイスの多用による集中力や学力低下等の弊害はないのか。

教育長 デジタルデバイスを日常的に長時間利用することが学力低下の要因になり得ることは、教育委員会でも大学の研究を通し理解している。そのため、今後も紙とデジタル、それぞれの良さを生かした教育環境の充実に努めていく。

問 デジタルデバイスを過度な利用時間とならないよう、使用時間の範囲を定めて是正していくべきではないか。

デジタル・紙、それぞれの良さを生かし、子どもたちのより良い教育環境づくりを目指してほしい。

議員のひとりごと



デジタル依存に注意

教育次長 これまでは主体的に使用時間を定めることはしてこなかった。今後は、学校運営協議会、学校等と連携しながら、ある程度の方針については検討していく必要があると考えている。

各分野を町に提言

福祉・教育分野の醸成を

総務教民常任委員会

1. 人口の自然増に向けて

若年子育て世代に経済的支援を

近年の物価高は若い世代の生活を圧迫し、困窮する家庭も増加している。こうした背景を踏まえ、若い世代が出産や育児に対して抱える不安を解消し、子育てのしやすい環境整備のために中学生への給食費の無償化と第2子以降への出産祝金の多子加算の経済的な対策を講じるべきである。

公園の整備を

特に子育て世代から強く要望のある、子どもたちがのびのびと遊び、世代間交流ができる公園の整備は喫緊の課題である。早急な整備を図るべきである。

2. 人口の社会増に向けて

観光客を含めた交流人口の増加を

まちの人材をはじめとした地域おこし協力隊などを活用し空き店舗の活用を図り、観光客が散策したくなる町並みの形成を目指すべきである。それにより、交流人口の増加を図りたい。

雇用の場の確保を

若者のUターンを増やすため、積極的な企業誘致を行い、雇用の場を確保すべきである。また、空き家バンクのさらなる充実、安価で購入できる住宅団地の造成など住環境の整備にも取り組むべきである。

まちの元気と暮らしを形成

産業建設常任委員会

1. 社会基盤整備

住民の要望に沿った社会基盤整備を望む

緊急車両の入れない町道や私道も依然として存在しており、引き続き計画的な対策が求められる。景観条例については、令和7年7月の都市計画マスタープランの改定を踏まえ、住民の要望に沿った改定となるように見定める必要がある。

2. 農業振興策

鳥獣被害対策を含め、農業振興策への施策を望む

令和7年9月から実施されている緊急銃猟について、実施訓練もされたが、緊急銃猟にあたる実施者と地域住民の安全第一に引き続き取り組みが必要である。

コメ価格の高騰、一方で「暴落の可能性」の報道など、主食を生産する農家が安心して農業生産に取り組める町独自の施策についても必要である。

3. 観光・産業振興策

物価高に対応した支援を強められたい

物価高騰は深刻であり、町内事業者への支援を引き続き求めていくことは重要である。

令和8年度は、提言に沿った調査・研究をしていく。

町長へ提言

～追跡質問の導入に向けて～



- 2月26日に議長をはじめ、議会改革推進会議委員長が町議会の総意として、追跡質問の必要性を町長へ提言したところ、主に左記の事項を遵守しつつ、導入することが町議会間で協議を経て決定した。
- 追跡質問の範囲は過去一年以内の一般質問・総括質疑・事件案件とする。
- 発言時間は20分以内とし、文書で質問要旨を事前に通告する。
- 初回答弁は町長及び教育長が行う。

他の自治体における導入事例は？

全国的には、広報委員会が独自に一般質問等を追跡調査し、議会広報に掲載している事例は見受けられる。県内では住田町議会がその例である。しかし、今回の平泉町議会のような独立した追跡質問制度導入の試みは、北海道の知内町・青森県の佐井村・宮城県の川崎町などと並び、全国的には極めて先進的であると言える。町議会としても質問することを終着点とせず、より活発な議論を展開するため、積極的に取り組んでいきたい。

制度の活用を

質問の内容にもよりますが、追跡質問を重ねることで、質疑がより深まり理解も一層進むと考えます。そのため積極的に追跡質問を続けていただければ、より良い方向性が必ず浮上してきます。そうしなければ何も変わらないと思います。

佐瀬 博孝さん
(平泉字伽羅楽)



市民の声



町民ひとりひとりに町への思いがあります。皆さんの取り組みや考えを聞いてみました。



豊作を願い播種作業を進める

改めまして、大賞受賞おめでとうございます。受賞されましたお気持ちを、お聞きかせください。

ありがとうございます。初めての取り組みでしたが、授賞式では全国から農業従事者の方々が多く来場し、関心の高さを感じました。また、多くの反響や取材依頼も頂いていることにも驚いています。稲株の必要な部分のみに施肥を絞ることによって無駄な雑草が出な

昨年12月、日本初となる第一回「節水栽培米グランプリ」において、「節水型乾田直播栽培」による米づくりを行う全国の生産者30名の中で、初代大賞に輝かれました。

若者が関心を抱く農業を

「下長根農場」 佐々木正樹さん

「節水型乾田直播栽培」による米づくりを始めたきっかけをお聞かせください。

昨今の気候変動や猛暑により水不足が起きており、不安を感じていたところ、農業の配信動画で節水型栽培を知り、「経験を積んでおきたい」と思い、その取り組み方の情報などを収集しながら、県内外で取り組んでいる生産者を訪問し、研修をさせて頂きました。また、身近に誰も取り組んでいないことも後押しの一助かりました。

これからの農業に必要なこと、取り組むべきことは何だと思えますか。

農業従事者の高齢化や後継者不足が深刻な中、スマート農業や機械化、AIなどでの省力化、効率化が進んでいます。まだまだ一部の農業者に限ら

れた取り組みと考えられているのが現状です。農業に興味を向けてもらうには、地域で身近にできる新しい技術や取り組みを広め、話題をつくることで農業への関心を高める必要があると思います。

町や議会にお願いしたいこと、または一言お願いします。

持続可能な農業をするにも若者の定着が急務です。出来る限り若者の定住や出産、育児などの特徴的な人口減少対策を講じるようお願いしたいです。

取材を終えて

農業情勢が二転三転する昨今、未来を見据えた佐々木さんに感銘を受けた取材となりました。地域計画でみる持続可能な農業の取り組み方、そして平泉らしい農業とは何なのか、早急に答えを出さなければいけない課題と考えるところですね。

(取材者 小笠寺 享)



議会では年に一度、大規模災害発生を想定した防災訓練を開催している。タブレットを活用し、各議員から安否と被害状況の報告が行われる。今回の訓練では、安否報告がない場合の対応やZoomを速やかに起動する手順の再確認の必要性について意見があがった。有事の際、平泉町議会では「議会BCP※」を原則として行動するが、その議会BCPも再確認する必要があるのではないだろうか。

※議会BCP…平泉町議会業務継続計画を指し、非常事態においても議会機能の維持を図り、迅速に対応するための計画である。



もしもの時に備えて

よりよい町づくりのために

女性農業者の会から要望がありました。

いわてポラーノの会

2月20日、会長の武田美紀様、一般社団法人岩手県農業会議会長杉原永康様から女性の農業委員への登用に関する要望をいただきました。農業委員に占める女性の割合は2割程度と低い現状にあり、現体制以上の女性の登用の拡充の要望がありました。



女性の積極的な農業参画を

報酬改定の課題と道筋は

町内団体と平泉町議会との懇談会

昨年12月に議員報酬等検討特別委員会が開かれ、近隣自治体等との比較検証が行われた。今回は町内団体の方々に参加いただき、報酬改定のあり方と課題について意見交換を行った。

財政的な問題は

- 増額は町の財政的に問題ないのか
- 過去の報酬改定の歴史も振り返るべき

若い人は出られる？

- 年金も退職金もない、若い人は出られるのか
- 特に子育て世代には難しいのではないのか

議会としての方針は

- まずは議会（議員）全体としての方針を定めるべき
- 町民への説明はどのように？



議会も自助努力を

- 議会全体も質の向上を目指すべき
- デジタル化で作業の効率化を図るべき
- 定数の再考はしないのか

議員報酬の周知を

- 議員年金が無いことは知らなかった
- 現状の報酬が思っていたより安かった

懇談を終えて

今回、9人の方に意見交換に参加していただき、様々な意見を聞くことができた。適正な水準への増額には前向きだったものの、まだまだ議会活動が見えてこないという声もあった。議会自体もできる限りの自助努力をしたうえで、平泉町議会としてのスタンスをしっかり持って、この課題に対応して欲しいという意見が印象深かった。

議会活動の可視化を

- 委員会活動等が町民に響いていないのではないのか
- 守秘義務の側面もあるが、やはり活動が見えにくい

参加団体

平泉商工会
平泉観光協会
平泉町社会福祉協議会

特集 議会モニターの視点 町の施策と議会への望みは

令和7年10月に発足した議会モニター制度が本格的に始動。議会に対する思いや考えを示してもらうことができた。議会催されるものである。前身は令和7年3月まで開催していた。

した。今回は4人の議会モニターに出席していただき、町やモニター制度とは議会全体に対し、広く意見を募る目的で開「議会だよりモニター」にあたる。

千葉義明さん



議会のあり方に工夫を

- 質問と答弁がかみあっていない感じがする。
- 議会がいつ開催されるかなど、初期情報が乏しい。
- 土日の議会開催も検討してみてはどうか。

広い視野で情報発信を

- web中継をしているが、視聴者層は？子育て世代への情報の浸透に努めて欲しい。
- 録画映像も見られるようだが、日々の生活に追われ、視聴が困難な層も多い。発信の仕方に工夫を。

青木麻衣さん



初めての議場での傍聴

- 実際に議場で傍聴すると議会の動きが目に見えてわかりやすい。町民に議場に来ってもらう方策を練るべきである。
- こどもたちにも議会に参画してもらえよう形を考えてみてはどうか。
- 議員には町民の興味を惹くような努めを果たしてほしい。

モニターは議会を知るきっかけに

- 議論内容に関しては十分に理解できるものである。
- 政策のスピード感が議会と町とのやりとりの間で伝わってこない。様々な議案について「誰が、いつやるのか」を具体的に表明してほしい。

千葉和宏さん



広報広聴委員長の視点

モニター全員に共通していた意見は「情報発信のあり方」であった。せっかくの議会活動もその発信が不明瞭であれば、町民の関心は失われ、将来的に議会の意義が問われてくるのではないだろうか。また、こどもたちに議会への興味を持たせるという着眼点は、前身である議会だよりモニターからも同様の意見があったため、その方向に向けたアクションを早期に起こすべきではないだろうか。

多い？ 少ない？ 適正？ 議員報酬に対する意見

- 議員報酬は単一ではなく、町職員との比較でも論じるべきである。
- 優秀な人材確保の観点からも報酬を上げて良いのではないか。
- 最低限の報酬がなければ、お金に余裕のある人しかでられない。
- 町の規模を考えれば、決して議員報酬が低いというわけではない。
- 以前より、議会活動は増えていると感じるが、報酬は率直に言って低い。

第57回マクドナルド全国ミニバスケットボール大会が開かれ、岩手県代表として平泉ミニバスケットボールスポーツ少年団が全国の舞台に立ちました。3年前にも全国大会を経験した稲葉優希^{ゆうき}さんは、今回、キャプテンとしてチームをまとめ、盛り上げていきたいという意識を持って臨んだそうです。これからチームを背負う後輩たちには、「負けていても諦めない」「最後まで頑張り抜くこと」の大切さを伝え、自分たちの果たせなかった夏の地区大会優勝を託したいと話していました。



6年生は集大成となりました

あ
と
が
き

新年度が始まり、まちには希望の息吹が満ちています。

今回の議会だよりでは、予算審議の様子を中心に、当町の今後の方向性について特集いたしました。この紙面

を通じて、議会の熱気と冷静な議論のバランスを伝えたいと考えています。議会だよりを手に取り、町政への興味を深めていただければと思います。住民の皆様にも、より身近で分かりやすい議会報告を目指し、紙面づくりを続けてまいります。

ご一読いただければ幸いです。

大友仁子

編集スタッフ

委員長	委員	委員	委員	委員	副委員長
氷室裕史	大友仁子	升沢博子	阿部圭二	千葉多嘉男	小林寺享

議長交際費を公表します

1月分 44,392円

(新年賀詞交換会会費など)

2月分 41,500円

(祝賀会、懇談会費など)

3月分 23,600円

(意見交換会、懇談会費など)



※詳細はHPをご覧ください。

議会定例会 6月会議のお知らせ

6月4日(木)~11日(木) 開催予定

※本会議はインターネットで生中継しています。

※傍聴にお越しくください。



町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

